PRESS RELEASE
報道発表資料

JNTO
日本政府観光局

※　本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。　2023 年 3 月 29 日

MICE アンバサダーに新たに 3 名の就任が決定！

日本政府観光局（JNTO）は、国際会議の誘致活動や国際会議開催の意義の啓発・広報活動を担う「MICE アンバサダー」として、2 月 27 日付で新たに 3 名を認定しました。
国際会議の開催は、開催地への外国人参加者の来訪に加え、地元産業と学会を連携させることによる地域の活性化や経済発展に繋がります。MICE アンバサダーは「日本の顔」として、JNTO と連携した新たな国際会議の誘致や、JNTO が実施するさまざまな広報・プロモーション活動にご協力いただきます。

◆2022 年度に新たに就任した MICE アンバサダー

坂本　大介（さかもと　だいすけ）北海道大学大学院情報科学研究院　准教授

- 人とロボットの関わり合いに着目した研究分野であるヒューマン・ロボット・インタラクション（HRI）において国内外の最優秀論文賞等を多数受賞。
- 2022 年には HRI における最重要会議「ACM/IEEE HRI2022」の共同議長を務めた。

鈴木　直（すずき　なお）聖マリアンナ医科大学産婦人科学　主任教授

- 思春期・若年成人のがん患者が生活上で直面する課題のサポート等を行うサバイバーシップの向上を目指した活動を推進。
- 2023 年よりアジア初の国際妊孕性温存学会（ISFP）理事長に就任。
  ※妊孕性：妊娠するために必要な力

山内　秀雄（やまのうち　ひでお）埼玉医科大学小児科　教授

- 乳幼児けいれん研究会・国際シンポジウム（ISS）議長を務め、世界中から第一線の研究者を招聘した国際シンポジウムを毎年国内外で開催。
- てんかん学・小児神経学領域における世界的キーパーソンと良好な関係をもつ。

※各アンバサダーの略歴については別紙参照

◆MICE アンバサダープログラムの概要

JNTO は、国内における国際会議開催の意義の理解度向上および海外における国際会議開催国としての日本のプレゼンス向上のため、学識や名声があり、専門分野において国内外に影響力のあるグローバルリーダーの方々を MICE アンバサダーに任命しています。本プログラムは 2013 年にスタートし、2023 年 3 月現在、70 名の MICE アンバサダーが活動しています。

【お問い合わせ先】　MICE プロモーション部　誘致推進グループ担当：野村・延川・田原・西込
TEL：03-5369-6015　E-MAIL：convention@jnto.go.jp

別紙

（敬称略）

坂本 大介（さかもと だいすけ）

北海道大学 大学院情報科学研究院 准教授

2017 年に北海道大学大学院情報科学研究科（2019 年より研究院）の准教授となり、2022 年より Japan ACM SIGCHI Chapter の Vice chair も担当している。これまでに国内外の学術会議やシンポジウムにおいて最優秀論文賞、最優秀デモンストレーション賞を受賞するほか、神戸ビエンナーレ 2007 ロボットメディアアートコンペティション 最優秀賞、Laval Virtual 2010, Grand Prix du Jury、2012 年度グッドデザイン賞など多数授賞している。国際舞台においては、当該研究分野の研究者が世界 79 カ国、5,147 人参加した「ACM CHI 2021」を、新型コロナウィルスの感染拡大によりオンライン開催となったが、招致から運営まで中心的な役割を担い成功裏に終えた。2022 年 3 月には Human-Robot Interaction(HRI)における最重要国際会議である「ACM/IEEE International Conference on Human-Robot Interaction 2022」の General co-chair を務め、世界 37 カ国 802 人の参加者を集めた会議を成功させた。

鈴木 直 （すずき なお）

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 主任教授

2011 年より、聖マリアンナ医科大学の主任教授となり、現在日本産科婦人科学会臨床倫理管理委委員会副委員長、日本婦人科腫瘍学会の常務理事、日本癌治療学会理事、厚生労働行政推進調査事業費による「小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」の研究責任者を担当している。2000 年前後までは国内外において、小児・AYA（思春期・若年成人）世代がん患者に対する妊孕性の問題について議論する公式の場がなかったことから、鈴木教授が中心となって 2012 年に日本がん・生殖医療学会を設立し、理事長として積極的にがんサバイバーシップ向上を志向した活動を進めている。2015 年にはアジアにおけるがん・生殖医療領域の啓発を志向して、アジア妊孕性温存学会(ASFP)を設立し、理事長を務めた(2015-2020)。 ASFP 理事長として国際妊孕性温存学会(ISFP)の理事会に参画し、長期に亘る誘致活動の結果、アジア初の ISFP 理事長(2023-2024)に選出され、第 8 回 ISFP 学術集会を会長として日本で初開催することが決まった。

山内 秀雄（やまのうち ひでお）

埼玉医科大学小児科 教授

2009 年に埼玉医科大学小児科教授、2017 年に同てんかんセンターセンター長に就任、日本小児神経学会の理事、日本てんかん学会理事、Infantile Seizure Society (ISS) Chairperson を歴任している。ISS では新生児・乳幼児てんかん関連領域における一流の国際的臨床医・研究者を招聘し国際シンポジウムを毎年国内外で開催している。また、直近で第 64 回日本小児神経学会学術集会の会長を務め、7 か国 8 名の海外招待演者による講演・シンポジウムを含む International Section を全日 3 日間開催し、参加者総数約 3000 名のうち海外から 289 名の参加者を得た。世界的な影響力を持つキーパーソンと良好な関係性を築いており、当該分野の国際的な発信力の向上と共に日本の学術的競争力を回復させ、てんかん学・小児神経学領域の国際学会の日本開催につながることが期待される。

独立行政法人 国際観光振興機構 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4
企画総室 広報グループ TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: https://www.jnto.go.jp